

リーディングDXスクール事業【実践事例】

幸手市立幸手中学校

【取組内容①】「デジタルポートフォリオ」を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

概要

クラウド上で白紙の段階から共有されたシート（Microsoft PowerPoint）を使用し、子供達一人一人が「デジタルポートフォリオ」として学びの足跡を記録する。中学校卒業後、個人クラウドにデータを移行し、生涯に渡る財産としていく。

Before



ノートやファイルに記録・保存

増えると大変

社会でまとめたノート

道徳のふりかえりシート

体育で使った学習カード

教育技術 <https://kyokushu.jp/>

なくなりやすい

各教科等で残し方がまちまち

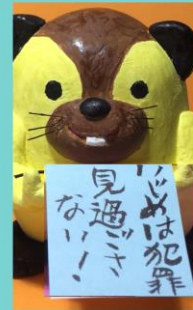


After

2023(令和5)年7月3日(月)

図工の時間に紙ねんどでビーバーを作った。色つけがうまくできた。

いじめをなくすピエールに使いたい。



クラウドで一元管理

半永久的に保管可能

中学校卒業後は、個人クラウドへ



Point!

約束

- ① 日付
- ② やったこと、思ったこと、感じたこと、成果など
- ③ デザインや画像、動画挿入などは自由(著作権、出典等デジタル・シィズンシップで学んだことは、しっかり守る)

視点の明確化

学習の記録・保存

「あなたは何かできるか」「あなたは何かをしてきたのか」「あなたにしかできないことは何か」

将来への証明

クラウド保管の意義理解